

令和 4 年 6 月 20 日現在

機関番号：12501

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H03386

研究課題名（和文）占領期ローカルメディアに関する資料調査および総合的考察

研究課題名（英文）Material survey and comprehensive consideration on local media of occupation period

研究代表者

大原 祐治（OHARA, Yuji）

千葉大学・大学院人文科学研究院・教授

研究者番号：40554184

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,600,000円

研究成果の概要（和文）：敗戦直後の時代、人々は出版物を強く求めたが、その需要に応えるだけの出版物は市場に存在しなかった。首都圏の印刷・出版機能が空襲によって失われ、外地からの用紙の供給が途絶えたためである。しかし、深刻な戦災を免れた地方では多く出版物が刊行された。とりわけ雑誌は全国各地で大量に刊行されていた。

これらの地方雑誌は図書館などでも体系的に収集されておらず、しばしば散逸している。本研究ではこうした雑誌について、占領期検閲資料（プランゲ文庫）および各地の図書館における調査と古書の収集によって網羅的な調査を実現した。その成果は『占領期の地方総合文芸雑誌事典』（金沢文圃閣、2022年）として結実した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来、網羅的な研究の対象とならなかった占領期の雑誌文化に光を当てるとともに、散逸の傾向にあるこれらの雑誌を貴重な資料として位置づけ、その価値を明らかにした点で意義ある研究であると言える。

また、共同研究の成果を事典としてまとめたことで、これまでの達成および今後の課題を明確にした。その成果は、文学研究のみならず戦後の文化状況について考察しようとする様々な領域における研究の展開に資するものである。

研究成果の概要（英文）：In postwar period, although people were eager for reading publications, there were not enough publications. This was because the printing and publishing functions in metropolitan areas were lost in air raids, and papers supplies from overseas land were also lost. These local magazines have not been collected systematically and under tendency of dispersion. In this cooperative research, we conducted a comprehensive survey of these magazines by collecting old books and researching in the Prage Collection (known as documents of censorship which carried out in the occupation period) and in libraries of various regions. The result is "Dictionary of Local Magazines in the Occupation Period" which will publish in 2022.

研究分野：日本近代文学

キーワード：占領期 地方文化 雑誌 出版 検閲

1. 研究開始当初の背景

戦時体制下における地方文化運動によって構築されたネットワークが、戦時下の疎開や戦後の復員・引揚によって生じた居住地の移動に伴って変容を遂げた結果、占領期(1945 - 52年)には全国各地で活発な文化発信が行われ、多くの地方雑誌が刊行されていた。しかし、従来こうした雑誌に関する網羅的な研究は行われておらず、資料は散逸の危機にあった。

本研究は、こうした占領期の地方雑誌を対象に、図書館等における所蔵調査および散逸資料の蒐集を行い、即目次の作成やデータベースの構築をも視野に入れつつ、雑誌の誌面構成や掲載された言説の内容に関する検討を行い、「地方」に着目しつつ戦後文化の諸相の多角的な再検討を目指すものとして企図された。

2. 研究の目的

本研究が当初想定していた研究目的は以下の4点であった。大量にのぼる占領期地方雑誌の刊行動向をできる限り網羅的に把握すること、刊行の母体となる人的ネットワークを解明し、占領期の各地方における文化運動の実態に迫ること、誌面構成および掲載記事の内容に関する分析を行うこと、主だった雑誌について総目次の作成を行うこと、データベースの構築や復刻版の刊行に向けた準備を行うこと。

3. 研究の方法

研究の方法としては、主に以下の3点を想定していた。全国各地の図書館、資料館等に収蔵されている雑誌の調査を行うこと、古書として流通している雑誌の蒐集を行うこと、占領期検閲資料(出版関係者から検閲当局に提出された校正刷および各種申請書類など)を収めるプランゲ文庫資料を活用した調査を実施すること。

4. 研究成果

共同研究第1年目にあたる2016年度は、共同研究を進める上での基軸を確認するところから作業を開始した。すなわち、1940年代前半から後半への連続性の中で地方文化運動とローカルメディアの関係を捉えること、引揚者のコミュニティ形成とローカルメディアとの関わりを捉えること、GHQ/SCAPによる検閲と出版関係者との駆け引きを動的に捉えること、いわゆる「カストリ雑誌」に注目し、占領期におけるセクシュアリティ表象と雑誌文化との相関について考察すること、以上の4点を調査作業の柱として定め、今後の調査に関する計画を見定めることとした。また、ゲストスピーカーを招いた研究会も実施した。内容としては、戦後新興宗教と出版文化との関わりに関する専門家の講演および、雑誌資料の探索とアーカイビングに関する専門家との意見交換会であり、いずれも今後の研究につながる貴重な成果を得た。

共同研究第2年目にあたる2017年度は、前年度に確認した研究展開の軸に沿って、メンバーがそれぞれの関心に沿って調査作業を遂行した。「カストリ雑誌」に関する調査を行うメンバーは、散逸の著しい資料を丹念に蒐集するとともに、誌面構成に関する分析・考察をおこない、編輯者および執筆者たちの構成する人的ネットワークを浮かび上がらせることを試み、一定の達成を得た。また、地方文化運動と雑誌の関わりについて調査を行うメンバーは、特に地方新聞社が戦後に創刊した地方総合雑誌・文芸雑誌の刊行状況についての作業を進め、その成果は三人社から刊行されている復刻資料(「戦後の地方新聞・雑誌」シリーズ)としてまとめられるに至った。また、この年度の成果としては、夏季に行った北海道(札幌市)への調査旅行が特筆される。この調査旅行では、まず占領期における北海道の出版文化について長年にわたって調査研究を継続している出村文理氏をゲストスピーカーに招き貴重な成果について話を伺うとともに、今後の研究課題について意見交換を行うことができた。また、北海道文学館「平澤秀和コレクション」および北海道立図書館「栗田文庫」に所蔵の貴重な資料を実見することができた。前者は北海道の地方出版に関する浩瀚な調査研究を行った研究者の旧蔵資料、後者は大手出版取次業者であった栗田出版販売に関する雑誌資料の集積であり、いずれも学術的価値の高いものであった。

共同研究第3年目にあたる2018年度は、研究成果の取りまとめと発信の形として『地方総合文芸雑誌事典(仮称)』(以下、『事典』と略記)の刊行について検討を行った。メンバー相互の意見交換に基づき、都道府県ごとの構成とし、各地方・地域内の文化運動において中核的な役割を担っていたと見なしうる比較的大規模の地方雑誌に的を絞ってその特質を明らかにすることなどが基本的な編集方針として決定された。また、事典の版元としては、地方出版史を含む出版文化史全般に関する資料を数多く手がける金沢文圃閣(石川県金沢市、代表・田川浩之氏)に引き受けていただくことが決定した。このことを受け、メンバーで直接金沢文圃閣に出向き、古書店として貴重な資料を数多く取り扱う同社で資料収集を行うと共に、事典の具体的な編集方針に関する打ち合わせを行い、事典の項目執筆者としてメンバー以外の研究者にも協力を仰ぐことで、研究調査を加速させる方針が決定された。

共同研究4年目にあたる2019年度は、『事典』の刊行に向けて、メンバー各自が項目執筆を担

当する都道府県について、占領期に刊行された地方雑誌を広範に調査し、事典で取り上げるべき雑誌のリストアップ作業を進めた。その作業過程において、雑誌刊行の様態が地方・地域によって大きく異なるということが判明し、各都道府県の地方雑誌について統一的なフォーマットに従って均等に紹介し検討することは難しいのではないかと、という問題が浮上した。このことを受け、『事典』編集のあり方についてメンバー間で数度に渡って再検討を行い、各都道府県の実態に即して、より柔軟に紹介・検討を行うべく、事典の書式を定めた。また、項目執筆に向けた意見交換と情報共有を行うための場として共同研究会を開催し、特に九州地方の出版文化に関する専門家である坂口博氏をゲストスピーカーとして招聘し、『事典』刊行の実現に向けて貴重な示唆を得た。また、研究代表者はメリーランド大学プランゲ文庫を訪問して資料調査を行うと共に、同館のジェンキンス加奈室長と面談し、『事典』の企画趣旨を説明の上、図版提供等に関する打ち合わせを行った。

共同研究5年目にあたる2020年度は、本来この共同研究の最終年度であったが、新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下で、共同研究という形では実質的な活動を行うことができなかった。ただし、メンバー各自が制約の大きい条件下でも調査を継続し、『事典』刊行に向けた作業を個人レベル行った。

翌2021年度は、『事典』刊行に向けた作業を再開させ、原稿の取りまとめと『事典』全体としての調整作業を行った。改めて版元とも協議し、最終的にタイトルを『占領期の地方総合文芸雑誌事典』に決定した。メリーランド大学プランゲ文庫とも連携し、雑誌原本から直接撮影した写真データの図版使用が実現したことは特記すべき成果だろう。原稿集約が済んだ後は、索引の作成作業を行う必要があったが、膨大なデータを扱うこの作業に関しては渡部裕太氏の協力を得た。また、『事典』で取り上げた雑誌の各機関における所蔵状況については、メンバーの一員である牧義之氏が担当した。なお、『事典』は2022年度中に刊行されることが確定している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件（うち査読付論文 12件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 大原祐治	4. 巻 51
2. 論文標題 文学者は「歴史」をどう書くのか 坂口安吾の場合	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会文学	6. 最初と最後の頁 85-97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水溜真由美	4. 巻 158
2. 論文標題 占領期北海道の総合雑誌（1）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北海道大学文学研究院紀要	6. 最初と最後の頁 71-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 1147
2. 論文標題 記録・フィクション・文学性 「聞き書き」の言葉について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 61-75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木貴宇	4. 巻 2019
2. 論文標題 『ありふれた風景』考 エロスとタナトス（大阪：工場萌え）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SD 2019	6. 最初と最後の頁 67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木貴宇	4. 巻 2019
2. 論文標題 『平成風景』考 あるいは『ありふれた風景』という逆説（船橋および京成文化分析）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SD 2019	6. 最初と最後の頁 71
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 饗庭伸 太田浩史 杉崎和久 *鈴木貴宇* 武田重昭 田中大介 近森高明 中島直人	4. 巻 2019
2. 論文標題 （座談会）平成のまちを歩いて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SD 2019	6. 最初と最後の頁 76-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 -17
2. 論文標題 師／弟小説としての「微笑」 栖方の微笑はなぜ「美しい」のか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 叙説	6. 最初と最後の頁 12-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 123
2. 論文標題 江戸川乱歩「人間椅子」はどのように書かれているか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立教大学日本文学	6. 最初と最後の頁 25-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 80
2. 論文標題 転形期としての一九八九年と元号問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 43-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川巧	4. 巻 19
2. 論文標題 戦時下の北京における出版物取締と雑誌『月刊毎日』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大衆文化	6. 最初と最後の頁 33-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 83号
2. 論文標題 『月に吠える』は吠え続ける	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 SAKU (萩原朔太郎研究会会報)	6. 最初と最後の頁 54-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 volume19
2. 論文標題 Herz und Mund und Tat und Terrorismus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 nter-Asia Cultural	6. 最初と最後の頁 526-535
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 46巻6号
2. 論文標題 果てなき負債の果て 石牟礼道子『苦海浄土』について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 194-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 67巻1号
2. 論文標題 死んだ肉体による文化批評 七〇年前後の森崎和江について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 47-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 61巻9号
2. 論文標題 森崎和江の言語論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 68-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 78集
2. 論文標題 「半日本人」を繋ぐ 森崎和江の詩学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 55-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧義之	4. 巻 27号
2. 論文標題 江戸川乱歩「二廃人」の授業実践記録 「キャッチコピー」制作を通じた読解多様性の共有	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 長野国文	6. 最初と最後の頁 154-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥羽耕史	4. 巻 187号
2. 論文標題 " 明治百年 " と未来の共和国の幽霊 安部公房『榎本武揚』の戯曲化をめぐる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国文学研究	6. 最初と最後の頁 68-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大原祐治	4. 巻 25
2. 論文標題 「若い人達」に向けて 雑誌「学生」と大佛次郎の戦後	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 おさらぎ選書	6. 最初と最後の頁 21-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大原祐治	4. 巻 76
2. 論文標題 所有と欲望 「歴史小説」としての「桜の森の満開の下」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 47-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口隆行	4. 巻 16
2. 論文標題 四國五郎と辻詩の問題 シベリア収容所の民主運動から広島のカール運動へ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 原爆文学研究	6. 最初と最後の頁 89-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川口隆行	4. 巻 1
2. 論文標題 原爆文学研究の現状と課題 東アジアという視座から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 グローバル日本研究クラスター報告書	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木貴宇	4. 巻 74
2. 論文標題 浮遊の表象 近藤東と「カタカナ詩」の問題を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森岡卓司	4. 巻 56
2. 論文標題 雑誌『労農』研究 占領期山形における地方文化運動の再検討のために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本研究	6. 最初と最後の頁 149-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森岡卓司	4. 巻 96
2. 論文標題 近代日本文学における「東北」表象と地方文学運動	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本近代文学	6. 最初と最後の頁 146-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 仁平政人	4. 巻 25
2. 論文標題 「惜別」と『大魯迅全集』 方法としての「孤独者」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 太宰治研究	6. 最初と最後の頁 155-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nihei Masato [Joshua Solomon訳]	4. 巻 130
2. 論文標題 Spiritualism and modernism in the work of Kawabata Yasunari	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japan Forum	6. 最初と最後の頁 69-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧義之	4. 巻 37
2. 論文標題 占領期・東海地区で発酵された雑誌に関する考察 カストリ雑誌化する『テラス』を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中京大学文学会論叢	6. 最初と最後の頁 181-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野知幸	4. 巻 17
2. 論文標題 三島由紀夫のボディビルとアメリカ 編集され、コラージュされる身体の形成	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 三島由紀夫研究	6. 最初と最後の頁 49-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坪井秀人	4. 巻 58(4)-60(7)
2. 論文標題 二十世紀日本語詩を思い出す [連載]	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 108-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 4
2. 論文標題 アパートのドアの覗き穴 目取真俊「剥離」「署名」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 越境広場	6. 最初と最後の頁 45-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤泉	4. 巻 42
2. 論文標題 日本語圏文学の「声」と「言葉」 崎山多美氏、ばくきょんみ氏の対話に寄せて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア太平洋研究	6. 最初と最後の頁 43-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鳥羽耕史	4. 巻 56
2. 論文標題 書評 リチャード・F・カリチマン『国家を超えて：安部公房の作品における時間、書くこと、そして共同体』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本研究	6. 最初と最後の頁 218-221
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計38件（うち招待講演 21件 / うち国際学会 23件）

1. 発表者名 大原祐治
2. 発表標題 帰還船からの眺め 逆さまに読む大岡昇平『俘虜記』
3. 学会等名 東アジアと同時代日本語フォーラム第7回台北大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大原祐治
2. 発表標題 夏目漱石『それから』を読む 文学研究における情動論的転回の一例として
3. 学会等名 華東理工大学外国語学院日語系学術講座（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大原祐治
2. 発表標題 井伏鱒二「寒山拾得」を読む 芸術の意味および価値の生成に関する寓話として
3. 学会等名 上海師範大学外国語学院華英論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大原祐治
2. 発表標題 文学とサブカルチャーの接触面 地層としてのテキスト
3. 学会等名 上海外国語大学日本文化経済学院公開講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木貴宇
2. 発表標題 サラリーマン の文化史
3. 学会等名 早稲田大学20世紀メディア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤泉
2. 発表標題 沖縄発、自立メディア『越境広場』
3. 学会等名 キョンヒ大学校グローバル琉球沖縄センター（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口隆行
2. 発表標題 動物たちの原爆文学
3. 学会等名 エコクリティシズム研究学会第32回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口隆行
2. 発表標題 青春の協同創作 シベリア収容所から朝鮮戦争下の広島へ
3. 学会等名 国際シンポジウム「詩画人 四國五郎の歩んだ道ーシベリアからヒロシマへー」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 戦時下における 人文知 夢野久作が描いた 東亜 とその未来
3. 学会等名 台湾日本語文学会2019年度大会基調講演(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 闘争 と 運動 の狭間で 「山谷 やられたらやりかえせ」を読む
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究プロジェクト「東アジア冷戦下の日本における社会運動と文化生産」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仁平政人
2. 発表標題 死者としての「私」 戦後の川端康成における「亡霊」の方法
3. 学会等名 日本近代文学会六月例会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仁平政人
2. 発表標題 「アメリカ」を書き直す 川端康成の一九三〇年前後・再考
3. 学会等名 日本比較文学会東北支部第20回比較文学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仁平政人
2. 発表標題 モダニティを翻訳する作法 川端康成の一九三〇年前後を視座に
3. 学会等名 川端康成生誕120周年記念 川端康成国際学術検討会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Igor Stravinsky and Koscak Yamada: Their Waka-Songs in Modernist Context
3. 学会等名 McClellan Lecture（イェール大学、Council on East Asian Studies）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Exploration of New Territory: Ito Hiromi 's Works after American Era
3. 学会等名 SOASセミナー（ロンドン大学SOAS）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 世界文学のなかの日本語文学
3. 学会等名 中国日本文学研究会創立40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大原祐治
2. 発表標題 占領期における地方雑誌と文学者 群馬県の事例を中心に
3. 学会等名 20世紀メディア研究所第121回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 光石亜由美
2. 発表標題 カストリ雑誌「獵奇」と北川千代三「H大佐夫人」
3. 学会等名 20世紀メディア研究所第120回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木貴宇
2. 発表標題 戦後銀行労働運動における機関誌と文化運動：『ひろば』を事例として
3. 学会等名 20世紀メディア研究所第118回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木貴宇
2. 発表標題 White-Collar Irony: A Cultural Interpretation of "You Can Succeed, Too."(1964)
3. 学会等名 The Annual Conference of Association for Asian Studies (AAS) in Denver (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森岡卓司
2. 発表標題 占領期山形の文化運動と『月刊郷土』
3. 学会等名 20世紀メディア研究所第123回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野知幸
2. 発表標題 軽演劇における引揚者表象 越境性・混淆性の可視化と不可視化
3. 学会等名 2018年度日本近代文学会東海支部シンポジウム「混淆する身体 「混血児」と引揚者をめぐる文学表象」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 戦時下の北京における出版物取締と雑誌『月刊毎日』
3. 学会等名 日韓学術交流会(韓国・高麗大校日語日文学科グローバル日本研究院)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 大阪万博と高度経済成長期の文学
3. 学会等名 川端康成文学館 第33回 文学講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 戦時下の外地日本語雑誌を研究することの意義
3. 学会等名 韓国日本近代学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 Terayama Shuji on the Street
3. 学会等名 Japan-France-Global Workshop（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 From International to Global?
3. 学会等名 JSA-ASEAN201（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪井秀人
2. 発表標題 日本語文学の領域
3. 学会等名 シンポジウム「メディア時代の日本」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 Disabled Soldiers and Atomic Bomb Victims: Ota Yoko 's Representations of Wounds
3. 学会等名 The Annual Conference of Association for Asian Studies (AAS) in Denver
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 Abe Kobo and his consciousness of ethnicity
3. 学会等名 The Poetics of Passing: Interrogating Self-Fashioning as the Other in Zainichi (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 渥美の政治と暮らしを記録した作家、杉浦明平
3. 学会等名 田原市立渥美図書館主催講演会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川巧
2. 発表標題 ひとりひとりの死を弔うために 長谷川四郎「小さな礼拝堂」論
3. 学会等名 第5回 東アジアと同時代日本語文学フォーラム「言語とディアスポラ文学」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤泉
2. 発表標題 一九五〇年代の文化運動と批評
3. 学会等名 日本社会文学会2017年度春季大会シンポジウム「戦後の詩と文化運動を問い直す」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川口隆行
2. 発表標題 原爆文学研究の現状と課題 東アジアという視座から
3. 学会等名 国際ワークショップ 東アジアから原爆文学を読みなおす(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 光石亜由美
2. 発表標題 戦争のトラウマと文学 もしくは、石塚喜久三とエロティックな戦争
3. 学会等名 東アジアと同時代日本語文学フォーラム「戦争文学におけるジェンダー・セクシュアリティの問題」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 1950年代のサークル運動と東アジアへの想像力
3. 学会等名 在日文学ワークショップ（リーハイ大学）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 Colonial Afterlives: From Abe Kobo to "Sukiyaki"
3. 学会等名 コロンビア大学、シカゴ大学における単独講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鳥羽耕史
2. 発表標題 Past, Self, and Community: The Repetition and The Renewal of Abe Kobo
3. 学会等名 UCLA Trans-Pacific Workshop（国際学会）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計24件

1. 著者名 坪井秀人（編著）, 分担執筆: 大原祐治, 佐藤泉, 鳥羽耕史, 光石亜由美	4. 発行年 2019年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 603
3. 書名 戦後日本文化再考（吉田山叢書002）	

1. 著者名 紅野謙介（編著）,分担執筆:川口隆行	4. 発行年 2019年
2. 出版社 幻戯書房	5. 総ページ数 251
3. 書名 どうする?どうなる?これからの「国語」教育 : 大学入学共通テストと新学習指導要領をめぐる12の提言	

1. 著者名 河野貴美子,Wiebke DENECKE,新川登亀男.陣野英則（編）,分担執筆:石川巧	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 562
3. 書名 日本「文」学史 第三冊 「文」から「文学」へ 東アジアの文学を見直す	

1. 著者名 郡千寿子・仁平政人（共編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 弘前大学出版会	5. 総ページ数 424
3. 書名 青森の文学世界 北の文脈 を読み直す	

1. 著者名 坪井 秀人・瀧井 一博・白石 恵理・小田 龍哉（共編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 226
3. 書名 越境する歴史学と世界文学	

1. 著者名 鳥羽耕史、山本直樹、阪本博志、角田拓也、山崎順子、友田義行、松山秀明、瀬崎圭二、ジャスティン・ジェスティ、ナミコ・クニモト、鈴木勝雄、ケン・ヨシダ、喜田智尊、狩俣真奈、友添太貴（共編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 森話社	5. 総ページ数 352
3. 書名 転形期のメディアロジー	

1. 著者名 井原あや、梅澤亜由美、大木志門、大原祐治、尾形大、小澤純、河野龍也、小林洋介（共編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 480
3. 書名 「私」から考える文学史	

1. 著者名 高橋秀太郎・森岡卓司（共編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東北大学出版会	5. 総ページ数 265
3. 書名 一九四〇年代の 東北 表象：文学・文化運動・地方雑誌	

1. 著者名 水溜真由美	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 448
3. 書名 堀田善衛 乱世を生きる	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金沢文圃閣	5. 総ページ数 800
3. 書名 海軍外郭団体雑誌『くろがね』解題・復刻版	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2019年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 380
3. 書名 幻の戦時下文学 『月刊毎日』傑作選	

1. 著者名 有馬学、石川巧、梅本真央、加峰三枝子、坂口博、首藤卓茂、田代ゆき、、永島広紀、波瀾剛、松本常彦 (共編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 福岡市博物館市史編さん室	5. 総ページ数 320
3. 書名 新修福岡市史 特別編 活字メディアの時代 近代福岡の印刷と出版	

1. 著者名 坪井秀人(共編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 敗戦と占領	

1. 著者名 坪井秀人（共編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 264
3. 書名 バブルと失われた20年	

1. 著者名 坪井秀人（共編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 212
3. 書名 運動の時代	

1. 著者名 坪井秀人（共編著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 276
3. 書名 東アジアの中の戦後日本	

1. 著者名 川口 隆行	4. 発行年 2017年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 396
3. 書名 原爆 を読む文化事典	

1. 著者名 佐藤 泉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 352
3. 書名 一九五〇年代、批評の政治学	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2017年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 318
3. 書名 幻の雑誌が語る大東亜戦争	

1. 著者名 石川巧	4. 発行年 2017年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 -
3. 書名 「月刊さきがけ」復刻版全五巻 + 解題・総目次	

1. 著者名 中園 裕・仁平政人	4. 発行年 2017年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 -
3. 書名 「月刊東奥」 戦後版 復刻版全四巻 + 解題・総目次	

1. 著者名 和田博文 [監修] 鈴木貴宇 [編著]	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 1143
3. 書名 コレクション・戦後詩誌 8「社会主義リアリズムの系譜」	

1. 著者名 徳田球一、志賀義雄 [解説 : 鳥羽耕史]	4. 発行年 2017年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 189
3. 書名 獄中十八年	

1. 著者名 大原祐治	4. 発行年 2016年
2. 出版社 三人社	5. 総ページ数 72
3. 書名 『月刊にひがた』復刻版別冊「解題・総目次・執筆者索引」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	水溜 真由美 (MIZUTAMARI Mayumi) (00344531)	北海道大学・文学研究院・准教授 (10101)	
研究分担者	仁平 政人 (NIHEI Masato) (20547393)	東北大学・文学研究科・准教授 (11301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	川口 隆行 (KAWAGUCHI Takayuki) (30512579)	広島大学・教育学研究科・准教授 (15401)	
研究分担者	天野 知幸 (AMANO Chisa) (40552998)	京都教育大学・教育学部・准教授 (14302)	
研究分担者	石川 巧 (ISHIKAWA Takumi) (60253176)	立教大学・文学部・教授 (32686)	
研究分担者	森岡 卓司 (MORIOKA Takashi) (70369289)	山形大学・人文社会科学部・教授 (11501)	
研究分担者	鈴木 貴宇 (SUZUKI Takane) (70454121)	東邦大学・理学部・准教授 (32661)	
研究分担者	佐藤 泉 (SATO Izumi) (80279637)	青山学院大学・文学部・教授 (32601)	
研究分担者	坪井 秀人 (TSUBOI Hideto) (90197757)	国際日本文化研究センター・研究部・教授 (64302)	
研究分担者	鳥羽 耕史 (TOBA Koji) (90346586)	早稲田大学・文学学術院・教授 (32689)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	光石 亜由美 (MITSUISHI Ayumi) (90387887)	奈良大学・文学部・教授 (34603)	
研究分担者	牧 義之 (MAKI Yoshiyuki) (00727737)	立教大学・文学部・特別研究員（日本学術振興会） (32686)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関